

事業名	男女共同参画学習推進事業費	財務コード (事業)	671601
-----	---------------	---------------	--------

細事業名	やまなし女性国際セミナー開催事業費
------	-------------------

担当部課室	教育委員会 部 社会教育 課 成人・家庭教育 担当 (内線)	8363
-------	--------------------------------	------

I 事業の概要

実施期間	始期 S59 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(委託)		
事業の目的	誰(何)を対象に 県下に在住する成人一般	その対象をどのような状態にして 女性の観点に立った、男女共同参画、国際理解・国際交流等、喫緊の課題についての学習の場を提供できる。	結果、何に結びつけるのか 男女共同参画社会づくりの推進
	事業の内容 ※主に 23年度 ○ 事業概要 「地球社会を共に生きるために」をテーマとした年4回のやまなし女性国際セミナーの開催 ①第1回セミナー 基調講演 「人は何によって輝くのか～国際交流と日本人～」 講師 作家 神渡 良平 氏 ②第2回セミナー シンポジウム 「変わる世界 変えよう日本 ～地域に根ざした国際交流in甲斐市～」 ③第3回セミナー 講演 「地球社会を共に生きる～今できること・していること～」 「女性と政治」 山梨県議会議員 木村 富貴子 氏 「食文化をとおして」 深澤 勢子 氏 「私の生き方」 高村 リエ 氏 ④第4回セミナー 海外視察研修報告と話し合い スロベニア・イタリア、アメリカ、スウェーデン ⑤報告書の発行 会員、文部科学省、国立女性会館、市町村、市町村教育委員会、県内各種女性教育団体に配布		
根拠法令等	男女共同参画社会基本法		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	22年度	23年度		24年度	25年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	①セミナー受講者数	392人	400人	428人	420人	430人	活動指標 目標設定の考え方 H16年度からの平均参加人数が392名であることから。 データの出典等 予算見積書
	②報告書発行部数	500部	500部	500部	500部	500部	
	活動指標達成率 (実績値/目標値)						
成果指標	セミナー受講により国際的視野が広がったことへの肯定的回答の割合	91%	90%	90%	90%	90%	成果指標 目標設定の考え方 例年の実績から データの出典等 受講者アンケート調査から
	成果指標達成率 (実績値/目標値)			100.0 %			
	決算額、予算額	525		525	533	533	
(千円) うち一財額	525		525	533	533		
所要時間(直接分)	30 時間		30 時間	30 時間	30 時間		
所要時間(間接分)	0 時間		0 時間	0 時間	0 時間		
所要時間計	30 時間		30 時間	30 時間	30 時間		
人件費コスト 単位:千円 (@2,021円×所要時間)	61		61	61	61		

III これまでの事業の見直し・改善状況

- ・H20年度より、成果指標を国際的視野が広がったことへの肯定的な回答をする参加者の割合と設定した。
- ・H21年度より、受講者を増やすため、セミナー開催日程を終日開催から午後開催に変更。(終日開催時の参加費1,000円(昼食代)徴収を廃止。)

#### IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)		
数値判定 H23年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること 4回のセミナーを実施して、総参加者数が平成22年度より36名上回り、目標達成率が107%であった。また、報告書を参加者の地域や関係団体への啓発活動に生かすことにより、成果に結びついている。
	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H23年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること 成果指標であるアンケート結果から、セミナー受講により、国際的な視野の広まりとともに、国際交流や男女共同参画運動推進についての意欲を持った受講者が多数おり、その多くが県内の男女共同参画や国際交流、人権擁護、県・市町村教育委員等様々な団体のリーダーとして、セミナーの理念を生かした活動を推進しているなど、意図した成果はほぼ上げている。
b	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

#### V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説 明	IV以外の判断項目
無		

・「IV以外の判断項目」の欄

○必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) ○官or民(f.民間等実施) ○官の役割分担(g.市町村等へ移管) ○効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	IV以外の判断項目

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

#### VI 見直しの方向(平成25年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
現行どおり	

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。